

認定こども園〇〇〇園 月間指導計画 5歳児4月

<p>月初めの園児の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ●異年齢児の世話をし、手本となり、いろいろなことを進んで行っている。 ●簡単なルールのある遊びを繰り返し遊び楽しんでいる。 ●当番活動に意欲的に取り組もうとしている。 ●新しい環境に自信をもち園生活を送っている園児もいれば、不安を抱えている園児もいる。 	<p>配慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新しい生活の流れや危険箇所の再確認をし、安全に遊べるようにする。 ●自主的に当番活動に関わるよう、役割分担等必要な情報を提供する。 	<p>幼児期の終わりにまでに育てほしい姿 10項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ●健康な心と体 ●自立心 ●協同性 ●道徳意識・規範意識の芽生え ●社会生活との関わり ●思考力の芽生え ●自然との関わり・生命尊重 ●数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ●言葉による伝え合い ●豊かな感性と表現 	<p>小学校との接続</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1学年担任との情報交換 ●月々の学校便りや園便りの交換 	<p>子育ての支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「わくわくいっばい一年生」(小学校入学までに身に付けさせたいこと)を配付し、基本的習慣が身に付くよう家庭と連携を取っていく。 ●園生活や行事など園児の園での様子を連絡帳やモニターで知らせていく。 	<p>園行事及び園事業</p> <p>進級式／誕生会／交通安全教室／避難訓練／内科・歯科健診／身体測定</p>
<p>月のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日常生活の中で簡単な標識や文字、数などに関心をもつ。 ●健康、安全な生活習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。 ●友達と楽しく活動する中で、共通の目的を見だし、工夫したり、協力したりなどする。 					

週	1週	2週	3週	4週
<p>週のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ●進級を喜び、新しい生活の仕方を身に付ける。 ●友達と一緒に意欲的に当番活動に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の健康に関心をもち健康な生活リズムを身に付ける。 ●5月の節句の由来を知り興味関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分から興味のあるものに関わり友達と共に過ごす楽しさを味わう。 ●誕生会では自己紹介をしたり友達の質問に答えたりする。 ●「整列ごっこ」を通して数や比較に関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●交通安全教室に参加し、安全な交通の習慣を身に付ける。 ●避難訓練での行動の仕方がわかり、安全に気を付けて行動する。 	
<p>教育時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●友達と楽しく生活するためのまきりの大切さを再確認し、守ろうとする。 ●当番活動の内容を確認し、やり方と役割を理解し実行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の健康に関心をもち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う。 ●こどもの日に関心をもち、こいのぼり製作を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●誕生会では相手の話を注意して聞き、相手に分かるように話す。 ●「整列ごっこ」を通し、身長を比べたりグループに分けて数えたり、自分なりに考え試すことを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生活の中で様々な交通標識に興味をもち、作ったり、遊んだりする中で意味があることに気付く。 ●避難訓練の約束事を理解し、保育教諭等の指示に従い安全な行動を取る。
<p>■環境構成 ★援助・配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■持ち物の場所や遊び、製作に必要な教材は文字や絵をラベルにして提示する。 ■遊具など生活や遊びに必要なものを身の回りに置くことで、好奇心や探究心をもって主体的に遊びに関わるようにする。 ★当番活動でぶつかり合いがあったときには折り合いを付けられるよう、適切な言葉掛けをしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ■「からだのひみつ」のパネルを用意する。 ■こいのぼり製作に必要な素材を用意する。 ★体の仕組みや健康の大切さに気付かせ、自ら手洗いや歯みがきの習慣が身に付くよう促す。 ★表現する意欲を十分に発揮させることができるよう、製作過程を大切に楽しめるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■比較することが目に見えるような道具や教材を用意する。 ★質問に答えられない園児には、具体的に伝えたり言葉を引き出すような言葉掛けを工夫する。 ★日常生活の中で比較が理解できるよう、その都度視覚支援を繰り返していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ■交通安全教室のための横断歩道、信号機、車などを用意する。 ■避難訓練の意識を高めるため、事前に非常ベルを聞かせたり、紙芝居を用意したりする。 ★交通安全指導や避難訓練は情緒の安定を図り、繰り返し取り組むことで自分の命を守る大切さを知らせていく。
<p>教育時間を除いた時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●慣れ親しんだルールのある遊びを楽しむ。 ●知育教材を使って異年齢児と一緒に楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●異年齢児といろいろなコーナー遊びを楽しむ。 ●集中力を必要とする細かいぬり絵やパズル遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●年長児の自覚をもち手本となって異年齢児と一緒にリトミックを楽しむ。 ●戸外で固定遊具で遊んだり、鬼ごっこを楽しんだりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●異年齢児と一緒に「交通安全ごっこ」を楽しむ。 ●気の合う友達と「はないちもんめ」や「かごめかごめ」などのわらべうた遊びを楽しむ。
<p>■環境構成 ★援助・配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■危険のないようスペースやグループ分けをする。 ■集中して遊べるようコーナーをつくる。 ★安全に配慮し休息や時間配分を調整する。 ★知育教材でつくった作品を展示することで次への意欲につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ままごと、ブロック、パズルなどをコーナーに配置する。 ■ぬり絵やお絵かきが落ち着いてできるスペースをつくる。 ★園児がいろいろな遊びに関心をもち、主体的に関わりをを広げられるよう援助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■十分に体を使い動き回れるスペースをつくる。 ■怪我や事故などないよう固定遊具の点検をし安全な環境を整える。 ★異年齢児とリトミックや固定遊具で遊ぶ中で、関わり方に戸惑っているときは必要に応じて言葉を掛け、さり気なく仲立ちをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■異年齢児と楽しむために交通安全教室で使用した信号機や手作りの車などを用意する。 ★午前の活動との連続性や相互の関連性を考え遊べるようにする。 ★保育教諭等と一緒に楽しみながら、我が国の伝統的なわらべうた遊びに親しめるようにする。
<p>教育・保育に対する自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい環境になり園児と一緒に生活の流れについて話し合い再確認したことで、生活の流れに見通しをもって行動する意識付けをすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「からだのひみつ」のパネルを用意したことで、健康について関心をもたせることができた。食育や生活習慣について、これから園児と一緒に考えていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●誕生会などで異年齢児と関わることで、思いやりの気持ちを育む機会となった。これからも日常の園生活や行事等を通して、興味のあるものに進んで関わられるよう工夫していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●交通安全教室では地域の警察官の直接指導により、園児が興味深く取り組むことができた。これからも、長期的な見通しをもち、計画的に指導していきたい。